



# 夢★きらめくにて

No. 32

加東市/加東市人権・同和教育研究協議会 令和4年3月1日



小学生じんけん教室（シッティングバレーボール体験）の様子

## 目次

- 特集「男女共同参画」…………… 2～5
- 中学生の人権作文…………… 6～9
- 地域に学ぶ体験学習支援事業…………… 9
- 小中学校人権教育講演会…………… 10
- 加東市人権・同和教育研究協議会の活動…………… 11
- 広域隣保活動事業…………… 12
- 加東市企業人権教育協議会の活動…………… 12
- 第15期加東市民人権講座修了者…………… 13
- 園児による共同作品…………… 14～15
- 加東市人権・同和教育研究協議会主催人権セミナー…………… 16
- 人権に関する悩みごとの相談先…………… 16

## わがらないうぶすが

加東市ベトナムクラブ

代表 小原 蒼深

「子供のお弁当に何入れたらいいの!」「算数セットにどうして名前書くの?」「病院一緒に行ってくれる?」「荷物の再配達どうやっていいの?」「この運動場使っているの?」「みりんと油まちがえた!」縁あってベトナムから日本に嫁いできた妻のスマホから、ひっきりなしに着信音が鳴ります。些細なことばかりですが、当人達の悩みはいたって真剣です、お弁当を作ることがない国から来ているんですから。ニンニクのたっぷり効いた美味しそうな子供への豚肉弁当を前に、「匂い控えめに」とアドバイスします。

現在、加東市には多くの外国出身の方々が暮らしていますが、日々、大小様々な壁に直面されていることでしょう。外国の地に住むと母国では当たり前になっていたことが、言葉・習慣の違いを前に突然何もできなくなり、子供に戻ってしまったように感じる場合があります。

私達は、ベトナムの方が中心ですが、そんなちょっとした日常の疑問に直接応えていくことが、皆が加東市で穏やかに生活できる近道だと感じています。また、コロナ禍で交流の機会が激減していますが、時節が整えば、香り鮮やかなベトナム料理をふんだんに準備して、文化・習慣が違う事を楽しむ、賑やかなお祭りが開催できればと考えています。

# 共に生きるために

基づく偏見や行動を「ジェンダーバイアス」と  
ざまな生活の場面で「女だから」「男だから」と  
に思った(経験した)エピソードを集めました。

女性が参画できる地域づくりが  
必要なんじゃない？

男性だけじゃなく女性も  
積極的に参画してみよう！

## 地域

- 仕事で家を空けると「夫や子どもは大丈夫？」と心配される。
- 地域で女性が発言すると「女性なのに」と言われる。
- 地区の行事などで女性は男性の手伝いをしていればいいと言われる。
  - 責任のある立場は男性が担うべきと言って押しつけられる。
- 地区の役員は男性がするという雰囲気がある。

## 家庭

- 私はパートだけど働いていることには変わりないのに「養っている感」を出してくる。
- 家事を私ばかりがしないといけない雰囲気。私も仕事で疲れているのに。
- 力仕事や危険な仕事は男の役目と言われる。男でも大変なのに…。
- 「稼ぎが悪い」と妻に言われる。一生懸命働いているのに。

性別を理由にして  
お互いに役割を  
押しつけあってない？

嫌なことや不満に思っている  
ことを話し合ってみよう！

あなたの『気づき』が

われた(経験した)ことはありましたか？  
ない！」と、思っている、従来の慣習や  
られているかもしれません。

# だれもが自分らしく

男女の役割分担に関する固定観念や性差に  
います。家事や育児、仕事や地域など、さま  
性別を理由に言われたことなど、違和感や疑問

性別で仕事の役割を  
決めていない？

一人一人の良さを活かせる  
職場がいいね！

## 職場

- 男性のほうが基本給が高い…。同じ仕事をしているのになぜ？
- 女性は細かい作業が得意だと思われる。手先が不器用な人もいるのに！
- プレゼンテーションや発表など、男性だからと任される。
- 男性は定年まで働くべきという考えを押しつけられる。
- 男性が育児休暇を取ると「男性なのに」と言われる。

## 子育て

固定観念で子どもを  
見てない？

- 学校の制服はなぜ決まっているの？スカートが嫌な女の子もいるのに。
- プレゼントはぬいぐるみやピンク色のものなど、女の子には可愛いものばかり。
- 「男の子だからもう少し頑張ろう」と声掛け。「男の子だから」をつける必要ある？
- 泣いている息子に対して、近所の方から「男の子だから泣いちゃダメでしょ」と言われた。男の子でも泣いてしまうことはあるのに。

性はグラデーション！  
ありのままを認めよう！

### 【性のグラデーション】

段階的に色が変わっていくときに、グラデーションという言葉が使われます。

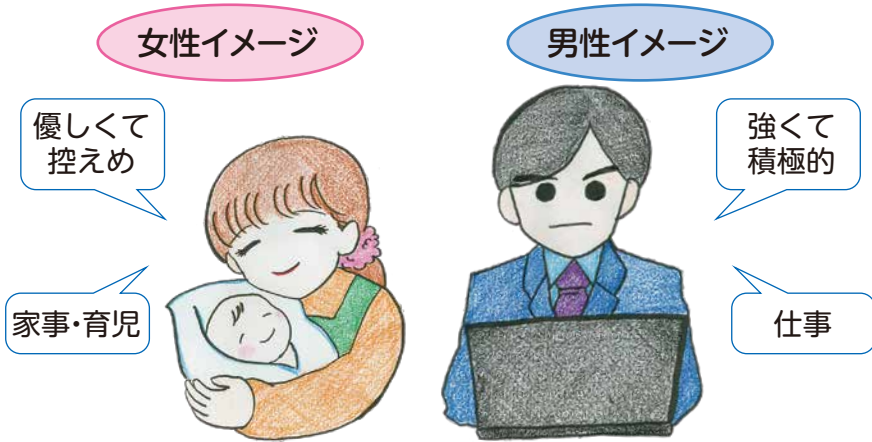
性のグラデーションとは、一人一人顔や性格が違うように、性は人によりさまざまで「女性」「男性」とはっきり二分できるものではなく、誰もがまじりあった存在という意味です。

大切です。

自分が言ってしまうことや言  
「自分自身は偏見なんてもって  
しきたりに無意識に縛

# ジェンダー平等を実現するためには??

## ◇そもそもジェンダーってなに？



**ジェンダーとは**

生物学的な身体の特徴などの性別の違いではなく、「女っぽい」「男っぽい」というイメージなど、社会のしくみや文化によってつくられた性別のことを言います。

## ジェンダー平等はよりよい世界を目指す国際目標のひとつ!!

**S**ustainable **D**evelopment **G**oals (持続可能な開発目標)

世界中の人々が幸せに暮らしていくための世界共通の目標がSDGs(エスディージーズ)。17の目標を2030年までに達成しようと、2015年に国連サミットで採択されました。その5番目の目標が「ジェンダー平等を実現しよう」。

すべての目標を達成する上で、ジェンダー平等は必要不可欠なこととされています。



ジェンダーは私たちの意識や生活の中に溶け込んでいるため、知らず知らずのうちにジェンダーに縛られた言動をしてしまうことがあります。ジェンダー平等を実現するためには、家庭や職場、地域などあらゆる場に存在している固定観念に気づき、見直していくことが大切です。

## ご存じですか？ ジェンダーギャップ指数

ジェンダーギャップ指数とは、各国の社会進出における「男女格差を示す指標」で、世界経済フォーラム（ダボス会議を開催する世界の企業や団体が加盟する非営利の公益団体）が各国を順位付けし、2006年から毎年発表しているものです。

この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから算出され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味します。

2021年の日本のジェンダーギャップ指数は、0.656。調査対象となった156か国のうち、120位（前は153か国中121位）でした。先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本が遅れを取っていることを示しています。

### 2021年の上位10位

順位	国	ジェンダーギャップ指数
1	アイスランド	0.892
2	フィンランド	0.861
3	ノルウェー	0.849
4	ニュージーランド	0.840
5	スウェーデン	0.823
6	ナミビア	0.809
7	ルワンダ	0.805
8	リトアニア	0.804
9	アイルランド	0.800
10	スイス	0.798
⋮	⋮	⋮
120	日本	0.656

正月明け、子育てママのつぶやき  
 「もう夫の実家にはいかない! 私は召使いでも家政婦でもない。なぜずっと台所で過ごさないとア坎の。私も年末年始のお休み、ゆっくりしたいよ。」

40年前の私も令和のママと同じ思いでした。

オフィスEEE  
 (Equity.Empowerment.Esteem)  
 男女共同参画アドバイザー

### 中村和子 さん



戦後「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方(性別役割分担意識)のもと、男性は企業戦士として高度経済成長を支え、経済大国日本を作り上げました。そして女性は、夫不在の家庭の家事・育児・介護を担い、夫を支え、居心地のいい家庭を作りました。その仕組みがうまく機能した成功体験が、私たちの意識に深くすり込まれているのです。

でも当時とは違い、現在は少子高齢化とともに人口減が始まり、労働人口の減少が問題になってきています。人口の半分である女性も労働力として期待されるようになってきました。1980年には64%が専業主婦でしたが、2020年には共働きが68%と逆転しています。女性は家事も育児も介護も、そして仕事もやらなければならないわけです。不満が募って当たり前です。

とはいえ、若いパパが家事や子育てをしている姿をようやくよく見るようになってきました。

これは、家庭科を男女共修で学んだかどうかに関係があるようです。80年代以降生まれの共修世代パパは、家事をするのは当たり前、妻に負担が偏らないように家事をシェアしているという研究もあります。男性が子育てに目覚めること(パパスイッチ)も、日本の男性はパパスイッチが入るのが遅いのです。その要因は子どもに関わる時間の少なさ、とくに新生児との関わりが少ないからと言われています。

パパが新生児と関わるために今年4月から男性の産休制度が始まります。産後うつを防ぐためにも夫婦で一緒に育児をスタートさせることが大事です。

またパパが子育てにより多く関われば、第2子が生まれやすいという調査結果があります。少子化を救うのは、イクメンパパなんです。

そのためにも、もっと家庭に時間をかけられるような働き方改革も大事ですね。

「男は仕事、女は家庭」という考え方は、男性にとっても「仕事だけが男の価値」という生きづらさになっていませんか。成功すること、稼いでくること。それだけを求める人生は、やるせないように思います。男性も家事や育児など家庭のことに関わり、家族とのあたたかな時間やつながりを持てる生き方を求めたいはずですよ。

男女共同参画社会の一番根底にあるのは家庭です。だからこそ性別役割分担意識をどうしたらなくしていけるか。みなさんは、どう思われるでしょうか。



## 加東ウィメンズリーダー塾 活動の様子

「加東ウィメンズリーダー塾」は、女性の視点をまちづくりに活かすため女性リーダーを発掘・育成することを目的として開催しています。



私たちの想いを  
 “カタチ” にしよう!!  
 2~5ページの記事は  
 私たちが考えました!

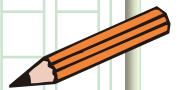


研修や  
 ワークショップを通じて  
 「10年後の加東市」を描きながら  
 性別にとらわれず、誰もが  
 生き生きと暮らせるまちづくり  
 について、想いを共有  
 しました!!



今後も、加東ウィメンズリーダー塾の活動の場を広げていきたいと思っています。  
 一人ひとりが暮らしやすいと実感できるまちにするために、私たちと一緒に一歩踏み出してみませんか?

# 中学生の人権作文



## 「今、自分たちに できること」



社中学校 一年 木村 太一  
きむら たいち

突然ですが、皆さんは「認知症」という言葉を知っていますか。僕は学校で福祉について学んだときに、初めて「認知症」について詳しく知ることができました。「認知症」とは、脳の病気や障害など様々な原因により、朝ご飯を食べたかどうかを忘れてしまったり、いつもなら一人でトイレに行けていたのにある日突然一人で行けなくなったりしてしまうなど、日常生活全般に支障が出てくる状態を言います。

認知症にはいくつかの種類があります。アルツハイマー型認知症は、認知症の中で最も多く、脳の神経が変化し、脳の一部が委縮していく認知症です。その他にも、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による血管性認知症や、現実には

見えないものが見える幻視や手足が震えたり歩幅が小刻みになって転びやすくなるレビー小体型認知症、スムーズに言葉が出てこずに言い間違いが多くなったり、感情の抑制がきかなくなり社会のルールを守れなかったりする前頭側頭型認知症というように、色々な種類があります。そもそも認知症だと分かるきっかけには、物忘れが多いことや、理解力、判断速度の低下などが挙げられます。

現在、国内では約六百万人の認知症の方がいますが、五年後には七百万人、六十五歳以上の五人に一人が認知症になると言われています。このように、認知症の方が増えていくなかで、皆さんは認知症の方々の馬鹿にしたり、否定したりする言葉や行動を見聞きしたことがあると思います。そのような言動は、どれほど認知症の方を傷つけてしまうことでしょう。

例えば、あなたが認知症の方に「ゴミはゴミ箱に入れて欲しい」と言ったとします。しかし、ゴミをゴミ箱に入れるという意味が分からず、あなたに何度も聞き返したとします。そんな時、感情的になり、相手を責めたりすることはないでしょうか。認知症の特徴として、物事の事実関係は忘れてしまっても、その時に感じた感情は心に長く残ってしまいます。つまり、「何度も聞き返した」という事実は忘れてしまい、「怒られた」という感情だけが残ってしまいます。ですから、こんな場合は、ど

れがゴミで、どこに入れるのかを優しくアドバイスすることが大切です。繰り返し伝えたり、優しい言葉掛けをしたりすることによって、悪い印象を良い印象に変えることができます。

相手のことを考えて、実行することは決して簡単ではありません。しかし、「あの人はこのように考えているのかな」とか、「この人が困っているようなら助けてあげよう」とかいうように、少しでも相手のことを意識して、今自分ができることをしていくことが大切です。声掛けをするときに、どんな風に言えば良いか困ることもあるかもしれません。しかし、相手の話をよく聞いて、どのようなことに困っているのかを一緒に考えたり、何ができないのかを理解し、できないことを僕たちが代わりに行ってやることによって、この先認知症の方が増えても、社

会全体で対応することができません。しかし、今の自分には関係ないと思っている人もいるかもしれません。あなたがもしあなたの身近な人が認知症になったとき、あなたには何ができますか。自ら動けるように考えてみてください。

認知症に限らず、私たちの社会は様々な人が互いに共存して生きています。誰もが「周囲にいる人を笑顔にしたい。」「誰かの役に立ちたい。」「という気持ちを持つことができれば、病気や障害、年齢や性別など、全ての壁を取り払い、誰もが過ごしやすい理想の社会を築くことができる」と、僕は思います。

## 「少子高齢化社会について」



滝野中学校 二年 前原 温志  
まえはら あつし

みなさんは、高齢者の人口が年々増加しているのは知っていますか。そのため少子高齢化が社会問題の一つとなっています。その大きな理由は日本の医療の発達です。自分には関係ないと思っている人も多いと思います。しかし僕は、高齢者のことを考えることは

とても大切なことだと思えます。関係がないと思っている人も自分が高齢者になった時の社会はどうあるべきかをしっかり考えるべきだと思えます。

僕の祖母は、時々、僕の家に卵や魚など食材を持ってきてくれます。祖母は目が少し悪いです。だから、できるだけ祖母には来てもらわず、自分が祖母の家に行くようにしています。

祖母は、夜になり、外が暗くなると、足元が見えづらくなり、歩くのがとても怖くなるそうです。僕は、もっと高齢者が生活しやすいくなるようなものが、増えたらいいなと思います。例えば、高齢者用の手すりやスロープがもっとあったらいいなと思います。

僕の母は介護士をしています。そこで、母に施設での高齢者の生活のようすや問題を聞きました。その施設には、いろいろな方がおられます。やさしい方もいれば、時々他の利用者や職員に対して厳しく当たる方もおられるそうです。高齢者にとって住みやすい環境づくりのためには、設備面を整備することも大切ですが、高齢者の方々がどんな気持ちで生活されているのかなど、心の部分を知ることとても大切だと思いました。母から話を聞くことで、介護のこと、高齢者の方の気持ちや接し方などを学ぶことができたので、よかったです。高齢者の方を見かけたら、声をかけたり、困っている時には、助けなくてははいけないと

改めて思いました。

僕の祖母は折り紙を折ったりもしますが、何より楽しいのは同じ世代の方々とおしゃべりをするのだそうです。高齢者一人一人の見方や感じ方は違いかもしれませんが、若いから生じるつらさなどを若者が理解することは大切だと思えます。高齢者の方々がどのように感じているのかを知ることが、簡単なことではありません。そのため、地域や家庭など様々な場面で実際に高齢者の方々と触れ合い、心こめて接することが大切なのではないでしょうか。

高齢者の一人暮らしも、問題の一つです。家族に迷惑をかけたくないと思っている人が多く、寂しい思いをしている人が大勢います。そのような高齢者の方々は、複雑な気持ちを誰にも伝えられないことがあると思います。これも大きな問題です。デイサービスや高齢者の方々が気軽に会話できる場を増やすべきだと思います。

多くの高齢者の方々がおられる中で、住みやすい環境や社会をつくらせていくこと。それが、今の若者にとつての大きな仕事ではないでしょうか。

まず、僕たちにできる大切なこととは、身のまわりにおられる高齢者の方々のことを真剣に考えることだと思えます。高齢者の方々は僕たちよりもはるかに社会に貢献してこられました。僕たちは、高齢者の方々に、尊敬の気持ちを持ち、正しく接することが大切だと

思えます。

また、「介護」という言葉が日常的に使われるようになった現在、僕たち中学生も今から、「介護」について真剣に考えなければならぬと思えます。人は産まれたときから、老いに向かって歩いていきます。老いは、誰もが避けて通ることができません。介護を他人事として感じるのではなく、自分の問題として考えていかなければなりません。「介護」という言葉が、身近になることで、みんなが協力をする社会をつくれるのではないのでしょうか。

少子化が進むなか、将来、「若者一人で三人の高齢者を支えていく」という現実があります。僕たちは、人生の先輩である高齢者の方々と互いに支え合って、生きていこうという意志を一人一人が持つべきだと思えます。

僕たちや両親が高齢者になった時は、若者と高齢者の垣根がない社会になってほしいです。そのためには、今、できることをすぐにはじめるといふ事が大切だと思えます。これが、すべての世代の人たちが、一緒に歩むべき唯一の正しい道だと思えます。



「だれもが安心して暮らせる社会へ」

加東市立東条学園小中学校 八年

レイモンド メイ



朝食の時間、私の両親はいつも新聞を読みます。その時、私は新聞ではなく、その中に入っている広告を見るのが好きです。特に好きなのは、住宅と食べ物に関する広告です。週末になるとたくさんの方が入っている週末の朝は私にとって嬉しい時間です。

ある土曜日、私はいつものように住宅の広告を見ていました。アパートや土地に関する情報がたくさん書いてありました。「将来どんな家に住もうかな。」などと想像をふくらませていたその時、ある言葉が私の目にとまりました。アパートの間取り図のすぐ横に「外国人入居可」という文字が書いてあるのです。よく見ると同じ言葉が書いてある箇所が他にも三つありました。私は「外国人も借りることができるといふ意味やんな。そんな当たり前のことやん。なんでこんなことをわざわざ書くの。」と思いました。そんな私に、両親は外国人というだけでアパートを借

りられない人や外国人にアパートを貸したくない人がいることを教えてくれました。なぜ外国人に貸したくないのか、私には理解ができませんでした。両親は、「文化の違いや言葉の違いから、色々な問題が起こるかもしれないでしょう。それをめんどくさいとか不安だと感じている人がいるんじゃないのかな。」と答えました。

私は、両親の言う言葉や文化の違いから生じる問題とは具体的にどのようなものか自分なりに想像してみました。ごみを捨てる場所や曜日を守らないのではないかと。ゴミの分別をしないのではないかと。家賃を約束通り支払わないのではないかと。近所の人ともめ事があつたときに上手く解決できないのではないかと。友達をたくさん呼んで大きな音や声で大騒ぎをするのではないかと。

しかし、すぐ、外国人だからといってこのようなことを心配するのは失礼ではないかと考え始めました。なぜなら、日本人でもこのようなことをする人はいるからです。それから、外国人と言っても国籍も異なるし、一人一人もそれぞれ違うはずで、それを「外国人」というひとつのカテゴリーに当てはめて決めつけてしまうのはおかしいことです。また、見方を換えれば、日本人だったらこのようにすることは説明しなくても当たり前のこととして分かるはずだという考えが隠れていることにも気づきました。

そこで私は、文化や言葉の違いから生じる問題が起こりにくい仕組みを整えることが大切だと考えました。

育った国が違えば、文化や生活習慣が異なるのはごく自然なことです。しかし、日本で暮らすにあたっては、日本のルールを守って生活することが大切です。日本のルールを守らずに困ったことをする外国人は、わざとそのようにしているのではなく、ルールを知らないだけかもしれません。だから生活の中のルールをしっかりと分かりやすく説明すれば、問題の多くは避けられると思います。

では、どのような方法で日本のルールを分かりやすく伝えることができるでしょうか。一つ目は、日本語だけではなく、英語などよく使用される言語で説明書を作ることです。契約の内容だけでなく、近くの病院や子育てに関するお役立ち情報など、日常生活に関わる情報があれば嬉しいと思います。外国人の中には来日したばかりで日本語が分からなく不安を感じている人がいるはずです。また、説明書を手渡すだけではなく、直接会って説明をすることも大切です。中には、このような準備を面倒だと感じる人もいるでしょう。しかし、今では、翻訳アプリなど無料で簡単に言葉を変換できるものもたくさんあります。他にも、キッチンやお風呂の使い方、手入れの仕方などを絵や簡単な言葉を使って、分かりやすく

示したものをそれぞれの場所に掲示するのも良いアイデアです。

このようなかんたんな工夫で、外国人は安心して日本の生活に慣れていくでしょう。また、アパートの持ち主や近所の住民も、外国人をコミュニケーションの一員として受け入れていくでしょう。

日本にはたくさんの方々が暮らしています。これからもその数はどんどん増えていくでしょう。少しの工夫で、外国人が安心して生活できるような社会をみんなで作っていきたいです。そして「外国人入居可」という文字が広告から消える日が早く来ることを願っています。

「いの命尽きるまで、生きるのみ」

兵庫教育大学附属中学校 三年

高瀬 瑠愛



「るっちゃん、お帰り。スイカがあるから、食べにおいで。」私は学校から帰宅すると、いつも庭仕事をしながら私の帰宅を待っていてくれたトキ子さんという九十歳のお友達の家に行く。私の父は転勤族で数年に一度は

転勤をする。私達姉妹が小学生の頃までは、転勤先に付いて引っ越していた。私は引っ越した先々でいろんな方とお知り合いになった。「はじめまして。引っ越して来ました。よろしくお願ひします。」と近所を回ると、特に、お年寄りの方がとても優しく接して下さり、私はいつもそれに甘えていた。

「お母さん、トキ子さんの家でスイカ食べてくるね。」と母に言う。母はいつもトキ子さんの分にと、晩ごはんのおすそわけをお皿に入れて私に持たせる。「あなたは色んな所で色んな人にかわいがってもらう野良猫みたいやね。」

と大笑いしながら、私を送り出してくれた。宝塚にいた頃にも仲良しのおばあちゃんがいた。大阪にいた頃にも仲良しのお年寄りが二人いた。私はいつもまさしく野良猫みたいに可愛いがってもらっていた。そしてまた引っ越しすることになり、それを告げると、「るっちゃんなら、どこでも頑張れるよ。」とみんな応援してくれた。

血の繋がった祖父は、いつも夕飯時に、かかさず電話をくれていた。

「今日は学校でどうだったの。」とお決まりのことを尋ねられるのに対して、私は適当に返事をしてきた。これもお決まりだった。しかし、今思うと、もっとちゃんと答えていたら良かった。もっと言うべきことがあったのではなかったか。



先日、その祖父が亡くなった。祖父は退職後、毎日スポーツジムで走っていて、まだ七十代で若かったし元気だった。亡くなる前日も私と一緒に大好物のうな丼を食べていた。そして私の進路を気にしてくれていた。

「高校はおじいちゃんの家から通える所にしようかな。」私は祖父が大好きだったから、祖父と住むのもいいなと心から思っていた。だけど、

「それは、るっちゃんの人生のプラスになることなのかな。」祖父はいつも利他の精神で、他者の事をまず考える人なので、受け入れてはくれなかった。絶対に己の感情は出さず、その時も私の将来のことだけを考えてくれた。私がかどんなにちっぽけでも否定せず、いつも誉めてくれた。自分に厳しくて、真面目で強かった。

祖父は心不全での急死だった。あまりに急で全く苦しまず亡くなったので、本人も亡くなった事すら気が付いていないだろうと医者に言われた。その後の通夜や葬儀には、沢山の親戚や祖父の銀行員時代の人々が来ていた。初めてお会いする人ばかりなのに、

「あなたは陸上をしてるんだよね。」と多くの人に声をかけられた。祖父は知り合いという知り合いに、私という孫がいて、陸上を頑張っていると自慢してくれていた。祖父の死はあつげなすぎで、さよならを言うことすら出来なかった。私が「大好き、長生きして

ね。」と祖父に言つと、いつも祖父は、「この命尽きるまで、生きるのみ。」と言っていた。これが祖父の口くせだった。本当に亡くなるその時まで、入院することすらなく、自分に厳しく、賢く、生涯勉強し、走り続けていた。生きとし生ける命を、生かされている事に感謝し、己の力で生き抜くんだと教えてくれている気がして、私はお葬式でも泣かなかつた。泣きたかつたけど、まだ言いたい事があつたはずなのに、泣いてはいけな気がして泣かなかつた。

日本は高齢化社会で、トキ子さんも祖父も独居老人だ。独居老人の孤独死が問題になっている。このことは絶対にあつてはならない日本のみにくい姿の一つだと思つたとえ一人暮らしのお年寄りであっても、近所の人と繋がることに億劫になつてはいけなと思つた。お年寄りは、歳を重ねた先輩として、後輩の私達若者に貪欲に関わつていいはずである。

一方、私達には先輩を気遣う責任があると思つた。野良猫であろうと、求めて下さるなら甘えていいと思つた。あなたの周りには、あなたという後輩を求めている先輩はいないだろうか。高齢者と若者が手を取り合つてお互いの命を輝かせながら生きて行ける社会、これが、今一番日本に必要な本来の姿であるはずだ。



地域に学ぶ体験学習支援事業

加東市小学生じんけん教室

市内の小学生（今年度は東条学園生）を対象に、体験活動を通して人権について学ぶ「加東市小学生じんけん教室」を開設しました。

① シッティングバレーボール 体験

足の不自由な人がすわつた状態で行うバレーボールを体験し、障害のある人について理解を深めました。

- ・ 東条学園小中学校前期課程校舎体育館
- ・ 柳 昂志さん（東京パラリンピック日本代表）



② 異文化交流体験

ベトナム料理を作つたり民族衣装を着たりして外国の人や外国の文化について理解を深めました。

- ・ 東条公民館調理室
- ・ 小原ユータインさん（加東市ベトナムクラブ）

③ 渋染一揆資料館見学

江戸時代に、渋染の着物を着ることを強要されたことに対して、団結して撤回させた被差別部落の人々の姿に触れました。



# 小中学校人権教育講演会

子どもの頃から、人を思いやる心の大切さ、また、夢に向かって努力する大切さ等をテーマにしたお話を聞くことで、将来に希望を持って過ごしたり、自分や周りの人を大切に考えたりできる大人へ成長することを願って平成25年度から実施しています。



**感想** 私は講演会を聞いて、自分の考え方が変わったなと思います。今までは、今の生活が当たり前のものだと思っていましたが、お話を聞き、家族や友達がいとも支えてくれていたのだから、しっかりと感謝を言葉や行動で表していきたいと思います。伊藤さんは、片腕だけになっても最後まで希望を失わず、水泳やバイオリンなど新しいことにチャレンジしてみたり、看護師の夢を諦めずに成し遂げていてすごく素敵だなと思いました。自分のこれからの人生、何が起るか分からないけど、今を楽しんで後悔がないように、伊藤さんのような充実した人生を歩んでいきたいなと思いました。

日：令和3年10月22日  
会場：東条学園小中学校後期課程校舎体育館  
対象：東条学園小中学校5～9年生  
講師：伊藤真波さん（元パラリンピック水泳日本代表選手・義手の看護師）  
演題：「あきらめない心」



**感想** 私も力やも子のように強くて優しい心で人と接していきたいと思いました。私たちが中学校にいてもクラスの人に対するかげ口やいじめに気付いたら、自分ができることをしてやめさせたいと思いました。これからも、もっともつとより友達のことを見て気づき、大切にしたいと思っています。

日：令和3年11月19日  
会場：滝野東小学校体育館  
対象：滝野東小・滝野南小学校5・6年生  
講師：福永宅司さん（有限会社子ども学び館代表取締役）  
演題：「一人芝居、もも子を通して子ども達へ命の尊さを伝えよう」

小学校教諭・大学講師を経て、教育や子育て、人権問題の講演活動をされる一方で、一人芝居や私塾を経営。多様な視点から子育てや教育問題にメッセージを送る教育問題の語り部として活躍されています。

講演では、知的な遅れと身体の障害がありながらも自分の障害と向き合い、天真爛漫にいきる「もも子」と、もも子を必死に支える兄の「力」。そしてその友人らを一人で演じられました。



**感想** この講演を聞いて、人を見た目で判断することはその人の個性を否定していることなのでしてはいけません。このことを学びました。私も、自分にあるコンプレックスを自分にしかない素敵なものだと考え、自分の武器にしたかと思いましたが、そして、周りのコンプレックスで悩んでいる人に、時には逃げることも大切で、「死」だけは絶対に選んではいけないと伝えたいです。辛いことがあってもポジティブに生きると。明るく生活していけば幸せになれると思えました。

日：令和3年11月22日  
会場：滝野中学校体育館  
対象：滝野中学校1～3年生  
講師：副島淳さん（タレント・俳優）  
演題：「君のコンプレックスは武器になる」

日本人の母と米国人の父を持ち、生まれは東京都の蒲田。育ちは千葉県浦安という、見た目は外国人のように見えて中身は日本人。大学時代までバスケットボールに没頭し、大学卒業後はモデルやタレントに興味を持ち、現在は雑誌中心のモデルとして活躍されています。

講演では、家庭の事情で転校した小学校で容姿の違いから同級生からひどいじめに遭い、家では母親を責めることもありました。中学校でバスケットボール部に入部したことで状況が一変し、同級生に応援されることで自己肯定感を覚え、大学卒業後はコンプレックスだった身体的特徴が最高の武器になったと強調されました。



**感想** 私はこの講演を聞いて一番心に残ったのは、「地球の主人公は人間ではない」という言葉です。今、私たちは当たり前のように地球で過ごしていますが、その地球には人間だけでなく、たくさんの動物や植物などの自然であふれています。だから人間だけが自由に使ったり過すのではなく、他の生き物や自然も大切にすべきだと思います。そして人間同士でも周りの人のことを考えて過すことが大事で、「あの人は自分とちがうや」あの人は自分とは合わない」などと決めつけてばかりではだめだと思いました。

日：令和3年12月10日  
会場：社小中学校体育館  
対象：社福田米田三章鴨川小学校5・6年生  
講師：アクアマリン ミマスさん、Sachikoさん  
演題：「広い世界、星と夢に想いをのせて」

キーボード、ギター、作詞・作曲を担当されているミマスさんと、ボーカルを担当されているSachikoさんの音楽ユニット「アクアマリン」。代表曲に「COSMOS」「地球星歌」などがあり、合唱曲として全国の学校や合唱団で歌われています。

講演では、世界の国々を旅して多くの人々と交流された経験から、文化や生活スタイルの多様性の面白さやお互いに尊重することの大切さを語られました。また、広い宇宙や長い歴史の中に地球や私たちの命が存在し、それらがすべてかけがえのない大切なものであることを歌を通して子供たちの心に届けられました。

# だれもが互いを認め合い みんなの笑顔あふれる 人権尊重のまちに

加東市人権・同和教育研究協議会

## 住民学習推進部会



### 活動の総括

人権学習は、これまでのDVD視聴や講演などの集合型研修に加え、昨年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として資料を配布しての個別（家庭）研修も取り入れました。さらに今年度は、ケーブルTV視聴による個別（家庭）研修も加え、多様な研修方法を提示しました。

その結果、集合型研修を行った地区は48%、資料配布を行った地区は19%、ケーブルTV視聴を行った地区は33%と、さまざまな方法で取り組んでいただきました。

DVD視聴や講演会では、人権啓発DVD「カンパニユラの夢」を取り上げた地区が多かったです。テーマは「超高齢化社会とひきこもり（8050問題）」で、

「だれにも起こりうる自分の問題で地域の問題、として考えてもらったことがよかった」など大変好評でした。



講演会の講師（順不同）

- ・近藤文好さん
- ・松本邦夫さん
- ・平川米一さん
- ・嶋田亜紀さん
- ・堀井洋一さん
- ・大東太郎さん
- ・藤原正幸（人権教育推進員）

資料配布による研修では、「同和问题」「高齢者の人権」

「コロナ差別」がよく取り上げられました。中には、東京パブリックに合わせて自作の資料を作成して学習された地区もありました。

ケーブルTV視聴による研修では、「インターネットと人権」「外国人と人権」「同和问题」がよく取り上げられました。また、「性的マイノリティ」や「ハンセン病」というあまり身近でないテーマを取り上げた地区もありました。

個別（家庭）研修は感染症対策に有効であるだけでなく、「これまでに参加経験のない人にも参加してもらうことができた」「多くの人からアンケートを回収することができた」というメリットがありました。

しかし、「何名参加してもらえたのか分かりにくい」と、一方通行的なデメリットもあります。さまざまな方法を柔軟に取り入れていくことが望まれます。

## 学校教育部会



学校教育部会では、年間3回の人権・同和学習の公開授業・保育を行い、授業・保育の改善に努めています。

### ○米田こども園公開保育

・5歳児  
・指導者 坂本阿由子さん  
・題材 「異年齢保育を通して、一人一人に寄り添う」  
・ねらい 運動会の余韻を楽しみながら友達と一緒に遊びを進めていく。様々な遊びを通して、年下の子ども達に優しく関わる。



### ○滝野中学校公開授業

・第3学年  
・指導者 福井恭子さん  
・題材 「めぐり来る夏に」  
・ねらい 現在もなお残る部落差別の現実に触れ、それを解消するために取り組んできた人たちの姿から、差別を見抜く力を養い、差別のない社会を構築するために行動しようとする意欲を高める。

### ○鴨川小学校公開授業

・第5・6学年  
・指導者 宇高 健太さん  
・題材 「弟にはく手」  
・ねらい 障害のある友だちを理解して受け入れるとともに、互いに認め合って生きていこうとする意欲や態度を身につける。



# 広域隣保活動事業

福祉の向上や人権啓発のための各種の事業を窪田隣保館や各地区の公民館等で、総合的に実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加東市ケーブルテレビやYouTube・視聴覚機器を使うなど様々な工夫をして実施しました。

## 今年度実施事業

### ◆特設総合相談

7月6日・11月9日・3月1日

### ◆隣保館総合相談

毎週水曜日14時～16時

### ◆隣保館だより

毎月1回発行

### ◆いきいきゲーム教室

住民相互の交流、認知症予防をめざし、同じ絵ががしや絵の違いをさがすゲーム頭の体操(脳トレ)により、身も心も元気になりました。



### ◆読み聞かせ

加東市中央図書館と連携して、人権絵本の読み聞かせを実施しました。

### ◆回想法アフター

昨年度に引き続き、NHKアーカイブス(記録保管データベース)を利用したり、「回想かるた」をしたりして昔の若かりし日にタイムスリッ プしました。一人一人の懐かしい記憶に働きかける回想法を体験し、認知症の予防と地域内外の交流を図りました。



### ◆ヨガ教室

「ストレス発散」「身体のゆがみ・くせを治す」「自然治癒力を高める」「肩こりなどの慢性的な症状の緩和」といった効果を求めて、2月に体験しました。

### ◆人権講演会

「だれもが幸せに暮らせる社会をめざして」

兵庫県人権啓発協会 研修講師 生田 周司さん

人権課題・人権の歴史と現在の問題・部落差別解消のための取組についてのお話を視聴しました。加東市ケーブルテレビ・DVD・YouTubeを活用しての講演会を実施しました。



## 加東市企業人権教育協議会の活動

# 『受け継ぐ確かな実践、進めよう明るい職場づくり』



### ◆本年度の取組(10月～2月) 第3回社員研修会

#### 第一部

講演「誰もが笑顔で働くために」消防現場で学んだこころの健康」

石川 達之さん



消防士として数多く出勤した交通事故、労働災害、自損行為現場での活動経験から、心の健康の重要性について歌を交えてご講演いただきました。

#### 第二部

「心身がよみがえる

リラックスヨガ」

ヨガインストラクター

競 梨恵さん

宮崎 夢香さん

しっかり仕事をするために大切なのは「元気な心と体」です。コロナ禍の中、会員は「心身の健康維持と体の調子を整える方法」を動画で身につけました。



動画の収録

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加東市ケーブルテレビとYouTubeを活用して研修をしました。悲惨な現場で活動したことで、日常生活がこんなにキラキラと輝いていることに気づくようになったことなど、32年間の

# 第15期加東市民人権講座修了者一覧

第15期加東市民人権講座を3回受講され、修了された皆さんです。さまざまな人権課題について学習していただきました。学んでいただいたことを活かし、地域のリーダーとしてご活躍されることを期待しています。  
(敬称略) (令和4年2月1日現在)

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 【社一区】 三木健巳                  | 【藤田】 藤井康秀 藤原雅之 藤原善雄       |
| 【社二区】 小西敏文                  | 【山口】 藤原保也                 |
| 【社三区】 高部 操 石井敏和             | 【馬瀬】 戸田敏夫                 |
| 【社四区】 小紫泰良 西野雅彦 濱咲好雄 吉田真弓   | 【牧野】 藤浦 透 藤浦正三            |
| 【社五区】 阿江賢司 神崎 仁             | 【やしろ台】 中山久美子              |
| 【ひろのが丘】 北川栄人 鈴木昭夫 芹生悦子 大川栄治 | 【上鴨川】 中谷真幸 大畑寛晃           |
| 【藤田南】 深垣輝彦 岡井英樹             | 【平木】 松本祐二 吉田真也            |
| 【山国】 出井由美子 隅谷美香 井上由美子 出井佑磨  | 【高岡】 加納智行 山羽克典 志方幸治 三宅富雄  |
|                             | 【上滝野】 黒崎優子 大橋志州 高階時子      |
| 【松尾】 田中正紀 藤本貴子              | 【下滝野】 阿江真人 影山正明 吉岡康成 常石博文 |
| 【出水】 大橋康博 大橋茂樹              |                           |
| 【田中】 大橋潤一郎 渡邊聡治             | 【河高】 藤井晃輔 片浦慎一 丸山勝之 原 佳史  |
| 【鳥居】 岸本公一 木綿茂博              |                           |
| 【貝原】 中西敏彰 中西あゆみ             | 【新町】 藤原信彰 宮原文隆 大久保健太 宇高敬雄 |
| 【野村】 竹内安彦 時井敏彦              | 【北野】 谷本 旭 井上勝俊 木林克己 田中圭一郎 |
| 【窪田】 小東憲朗                   | 【穂積】 藤崎伸央 神戸位司            |
| 【家原】 松井裕美 松岡正彦              | 【稲尾】 宮島まさ子                |
| 【上中】 本山 亨 萩原幸信 橋本清和         | 【曾我】 竹内守男 竹内清美            |
| 【上中団地】 柴崎由夏 谷田美穂            | 【天神】 上村晃一 長尾真由美 日置和子 岸本兆平 |
| 【梶原】 氷見彰弘 遠藤良介 岸本 亨 宮田富太    | 【捨鹿谷】 溝端明信                |
| 【喜田】 馬場正明 田島徹平              | 【古家】 小池伸治 藤本克代            |
| 【福吉】 小林昭彦                   | 【少分谷】 阪本浩司                |
| 【上田】 石井和夫 時本和慶 時本由紀         | 【貞守】 小坂征幸 堂本明寛            |
| 【大門】 西嶋公子 稲継容彦              | 【長井】 大久保義信 松本一成           |
| 【西古瀬】 友藤良和                  | 【長谷】 豊後栄二 岸本尚志            |
| 【中古瀬】 小林和子                  | 【横谷】 田中陽子 射場未央            |
| 【東古瀬】 田中 肇 小林喜美郎 上月章靖 小紫康行  | 【南山】 山口公人 宮本 力            |
| 【屋度】 谷川洋右 服部隆利              | 【岡本】 藤本 勉 藤井昌子 田尻静香       |
| 【東実】 山口裕司                   | 【岩屋】 畑瀬晶裕 田中 勇            |
| 【畑】 小紫 忍                    | 【新定】 吉良三千也 山本智子 澤谷真理      |
| 【廻淵】 松野順二                   | 【吉井】 岸本将利 藤原由幸            |
| 【池之内】 岡本ちよ子                 | 【栄枝】 森 見生 森 律子            |
| 【下久米】 下山泰三                  | 【厚利】 片山英幸                 |
| 【上三草】 中村忠史 西山 誠 西山 要 中村 勉   | 【松沢】 藤原哲朗 岩崎哲也            |
|                             | 【大畑】 土肥義夫 土肥進也            |
| 【下三草】 森本圭一 上月正志 大西信輔        | 【蔵谷】 出井孝明 出井真裕子           |
| 【木梨】 白井秀樹                   |                           |

登録されていますか？

## 本人通知制度！

代理人や弁護士などの第三者が、住民票の写しや戸籍謄抄本などを取得した場合に、本人に知らせる制度が「本人通知制度」で、不正取得の発見につながります。通知を希望する方は事前登録が必要になりますので、登録手続きをしましょう。  
※市ホームページから詳細をご覧ください。

加東市本人通知制度 [検索](#)



加東市本人通知制度



身元調査だけでなく、  
車庫証明の不正利用  
(いわゆる「車庫とばし」)  
に使われるかも!  
「ひとごと」じゃない  
ですよ!

【お問い合わせ】 市民課 (庁舎1階) ☎43-0390

# 園児による共同作品

市内の保育園・認定子ども園に通う園児たちが、思いやりや助け合いの気持ちをテーマに共同作品を作成しました。



加東みらい(こども園)  
そらぐみ (5歳児)

## さいごまでバトンをつなごう

みんなで力を合わせて  
最後までバトンがつながるのって  
嬉しいね、楽しいね。



加東みらい(こども園)  
うみぐみ (5歳児)

## みんなでつないだバトンプラス!

みんなで考えたスローガンをもとに  
バトンをギュッと持って  
力いっぱい走り切りました。



三草(こども園)  
(5歳児)

## みんなみんな たいせつななかま

小さな生き物も一生懸命生きてるよ。  
赤ちゃんがうまれるのってうれしいな。  
みんなで大切にしよう。



米田(こども園)  
(5歳児)

## みんなでなかよくうんどうかい

米田の運動会、みんなの力と  
楽しいがいっぱい集まった  
運動会だったね。



鴨川(保育園)  
(4・5歳児)

## なかまとかわあそび

自然の恩恵を受け引き継がれている  
川遊び。仲間と共に五感をフルに  
使って今年も楽しみました。



正覚坊(こども園)  
(5歳児)

## 一人ひとりが主人公

みんなで考えた運動会。アイデアいっぱい  
楽しかった。みんな金メダルみたいに  
キラキラ輝いている。



東古瀬(こども園)  
(5歳児)

## みんな大好き仲間だよ

森で仲良く暮らすリスたちと  
僕たち私たち。豊かな自然の命を  
大切に大切に守っていくよ。



泉(こども園)  
(5歳児)

## こころをひとつに

運動会。同じ目標に向かって  
気持ちをひとつにがんばったよ!





椿山保育園  
(5歳児)

### どんな時も笑顔でいようね

にっこり笑うとうれしく 楽しくなっちゃうね。  
あったかい気持ちをもたらえる。  
おはなも笑っているね。



たきの愛児園  
(5歳児)

### たいせつな えがお

五輪を通じて色々な人が  
いることを発見したように  
子どもの純粋な心を育みたい。



高岡育児園  
(5歳児)

### てのひらをたいように

カブトムシもカマキリも  
僕も私も、みんなみんな  
生きているんだ 友達なんだ♪



加茂こども園  
(5歳児)

### ききゅうにのってどこまでも

みんなで気球にのっていつまでも  
すてきな景色をみていたいね。  
ずっとなかよし！さくらぐみ。



河高こども園  
(5歳児)

### みんなみんな生きている

今まで育ててきた虫も動物も花も  
すみれ組のみんなと同じ  
大切な命だよ。



東条こども園  
(5歳児)

### Let's Go! いいことあるさ

ひとりひとりのすてきなえがお。  
みんなのえがおがひろがると  
しあわせなきもちになるね。



秋津保育園  
(5歳児)

### ぼくらは 미래のたんけんたい

希望という名の舵を取り  
みんなを信じて進もう！  
一歩ずつ!!



さくら保育園  
(4・5歳児)

### サーキットってたのしいね!

友だちと一緒にだから  
とっても楽しいサーキット。



### 加東市人権・同和教育研究協議会主催人権セミナーのお知らせ

# 平田オリザさんの講演を放送・配信します。 ぜひご覧ください！

わかりあえないことから -シンパシーからエンパシーへ-

加東市人権・同和教育研究協議会（市同教）は、部落差別の問題をはじめとして、あらゆる人権課題の解決を目指して、地区住民学習の推進をはじめ、学校・園における人権教育や団体別研修等に取り組んでいます。

このたび、市同教では、平田オリザさんをお招きして、「多文化共生」をテーマに講演をしていただきました。広く市民のみなさまに視聴していただくため、加東市ケーブルテレビとYouTubeで放送・配信します。

ぜひご覧ください。

**講師** 平田オリザさん（劇作家・演出家、芸術文化観光専門職大学学長）  
**演題** わかりあえないことから -シンパシーからエンパシーへ-  
**放送日時** ○加東市ケーブルテレビ



放送日	放送開始時間
3月13日(日)、3月20日(日)、3月27日(日)	11時、20時
3月21日(月)~3月23日(水)	8時、12時、16時、20時

**配信期間** ○YouTube

公開期間 3月21日(月)9時 ~ 3月28日(月)17時

加東市人権学習チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCcR6f2UYpueR-RHdOm-LdVA>



お問い合わせ先：市民協働部人権協働課(庁舎1階) ☎43-0544

### ◇人権に関する悩みごとの相談先◇

差別、いじめ、いやがらせなど、人権に関する問題でお困りの場合は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

#### ☎ 電話で相談 ☎

- みんなの人権110番 ☎0570-003-110
- 子どもの人権110番 ☎0120-007-110
- 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810  
【以上 平日8:30~17:15】
- 外国人のための電話相談  
☎0570-090-911 【平日9:00~17:00】  
(Human Rights Counseling for Foreigners)
- 公益財団法人 兵庫県人権啓発協会  
☎078-891-7877 【平日9:00~17:00】
- 加東市 市民協働部 人権協働課  
☎0795-43-0544 【平日8:30~17:15】

#### 👤 面接で相談 👤

- 法務局の常設相談【平日8:30~17:15】  
法務局職員もしくは人権擁護委員が相談を受けています。  
神戸地方法務局社支局 ☎0795-42-0201
- 人権相談【10:00~11:30】  
相談員は人権擁護委員です。  
・第2金曜日 はびねす滝野  
・第3金曜日 社福祉センター  
・第4金曜日 東条公民館（とどろき荘2階）
- 窪田隣保館人権相談  
【毎週水曜日の14:00~16:00】  
相談員は人権教育推進員です。

発行 加東市 加東市人権・同和教育研究協議会

〒673-1493 兵庫県加東市社50 TEL 0795-43-0544 FAX 0795-42-1735